

Doc. 2856

證書第六五六号

總司令部聯合軍最高指揮官マニラ法務部

D S G

軍事郵便局五〇〇

一九四六年四月十五日

檢察部宛覽書(報告第二八二号)

マニラ法務部行政官經由

件名一九四五年三月比律賓諸島、ミンダナオ島「サン

ホアング」市「バリオ・サン・ロケイ」及「シチオ・ビツテー」ニ於ケル

残虐行為

二 證據ノ要約

此ノ殘虐行為ハ明ラカニ同一部隊ヨリ、二週間以内ニ略々
同一場所ニ行ハレタカラ、再調査ノ爲ニツノ別個ノ報
告ハ合併セラレ一緒ニ考慮セラレタ。混乱ヲ避ケル爲、後ニ
起ツタ殘虐行為ノ記録ノ各頁ニハ「I」ガ先ニナツテ居ル。
一九四五年三月八日又ハ其頃、日本軍ノ監督下ニ働イテキタ「サ
ンホアング」市「サン・ラモン」徒刑地カラノ約四十名ノ囚人達
ハ日本軍衛兵ニ護送サレテ歸リツ・アツタ。(報告八)彼等
ガ「バリオ・サン・ロケイ」ニ着イタ時、日本海軍部隊員達ハ
彼等ヲ縛リ「サン・ロケイ」河近クノ日本海軍宿舎ノ三箇所ノ
防空壕ニ入レタ。(RニExA) 囚人達ハ一人ハ防空壕カラ連レ
出サレ、壕ノ中ニ着キテ殘ツテキタ者達ニ彼等ノ悲鳴

Doc. 2856

No. 2

が聞エタカラ明ラカニ殺サシタ。(R 九) 約十人、囚人が
逃ゲル事ニ成功シ、此、内、又、他、人々ノ死刑執行ヲ彼
ガ約ニ時間モエツテ年々「コ、ナツ」ノ木ノ頂カラ目撃シタト
言明シテ申ル。(R 十九、二十)

一九四五年三月二十三日カ若クハ其頃、日本軍人ハ「サ、ボ、ト」
カ、市「ビ、ソ、ナ、カ」区「ビ、ソ、ナ、カ」町、市民達ヲ檢査シ刀劍ヲ
全部沒收シタ。囚人達ハソレカラ縛ラレ、ソ、内、若干ハ人宛近
クノ小川ニ連レテ行カ、其所デ日本軍、彼等ノ頭ヤ背中ニ軍
刀、ホ、ロ、刀、及ビ鶴嘴ヲ斬ツタ。(R 一一二、十六) 逃ゲヨウト
シタ他、犠牲者ハ銃劍ヲ刺サシタ。(R 一一七) 尚一人、比律
賓婦人ハ日本人ニ強姦サシタト述ベテ申ル。(R 一一二、十六)
